

税制調査会（第24回総会）終了後の記者会見議事録

日 時：令和元年8月27日（火）15時31分～15時39分

場 所：財務省第3特別会議室（本庁舎4階）

○中里会長

本日の総会では、連結納税制度の見直しと、それから、納税環境整備、この2つを議題として、それぞれの専門家会合での議論を田近座長と岡村座長から御報告いただきました。それについて質疑応答もありました。

また、会議の最後に、私から、いわゆる中期答申を9月中にとりまとめるため、次回の総会で具体的な議論を始めたいと御提案を申し上げて、それについて、委員の皆様から御了解を得ました。

私からは、以上です。

○記者

質問させてください。

議論の最後で、とりまとめに向けて、これから議論を加速させていくということでしたが、これまで約6年間に渡って、様々な議論をされてきて、あらゆることを、できるだけ盛り込みたいというような趣旨の発言が、会長からあったと思いますが、例えば、老後の資産形成の問題とか、今まさに永田町のほうでも話題になっている、霞が関でも話題になっている問題について、どの程度まで、この議論を反映させていきたいとお考えなのでしょうか。

○中里会長

老後の資産形成は、外国に調査に行ったまとめを、今、やっているところです。それぞれの国で少しやり方が違うみたいですし、法律の制度と実態が違っているという言い過ぎですが、実態については、実際に出かけてお聞きしてみると、印象がちょっと違うとか、いろいろなことがありますので、出張に出かけた先生方を中心に、今、きちんと整理をしているところですから、それからということになるのでしょうか。

○記者

連結納税制度のところで、研究開発費とか、外国税額控除とか、単体で見るとか、グループ全体でみるのかということところは、中里会長からも、今後、財務省が具体的な制度設計をお願いするという話で、今日はおっしゃっていたと思うのですが、ここの扱いについては、中期答申を出されるまでに決めた上で、中期答申を作成されるということなのか、また、違うタイムスケジュールになるのか、そのあたりは、どうなるのでしょうか。

○中里会長

もう8月も末のほうですね。あと1カ月ですから、連結については、今日田近座長からいただいた御報告を基本として、それをどう取り込んでいくかということになる

のではないかと思います。

さらに具体的な調整については、実務的な影響が結構ありますので、納税者の方々、企業の方々の御意見も聞きながら、具体的な制度設計の細かな細部に入っていくのではないかと思います。今、私が具体的な制度設計に携わっているわけではありませんので、私がここで申し上げることは適切ではないかもしれませんが、今は、来月中には無理かもしれませんが、いろいろ出てきたものについて、しっかりと応えていくということになるのだろうと思いますけれども。

○記者

ほかにありますか。

どうぞ。

○記者

先ほど、質問にもあったのですが、中期答申をとりまとめる際、テーマというか、そのメッセージというか、どういったところに着目した、働き方とか、経済社会構造の変化とか、ICT化とか、いろいろテーマはあると思うのですけれども、どういったメッセージ性のあるものになっていくのかなと、今の時点でお考えはありますか。

○中里会長

まだ、こういうメッセージを強く打ち出しますという、そういうところまで、とても議論はしておりません。これからやるわけですから。ただ、今まで、この6年間、いろんなものを出してまいりましたね。いろんな専門家会合とか、ディスカッショングループとかを置いて議論をしてきましたし、それをどう整理するかというところから入って行って、その上で、何かの方向性が出てくるのではないかと。

つまり、あらかじめ方向性を決めるのではなくて、今までの議論の中から、一定の方向性が浮かび上がって、それを将来につないでいくことができれば、それこそ、一番望ましい形ではないかと思っています。

私個人の考えをここで申し上げてもしょうがないのですが、世界的に中間層が傷ついています。アメリカでもヨーロッパでも、日本でも。日本はヨーロッパやアメリカと比べると、その点、そこまでではないというお考えもあるのかもしれませんが、でも、傷ついた中間層の方々を、どのように、これ以上傷つかないように、税制でできることがどこまであるか、それは分かりませんが、とにかくケアしていくという基本的な姿勢というのか、それは、今、政治家の先生方も、国会での議論も、与党の先生方も、野党の先生方も、それぞれ具体的な方策については、いろいろ賛成、反対があるのかもしれませんが、方向性としては、そこは、どなたも反対なさらないし、それこそ、今、すべきことであるという、それは、個人的に、今、思っているだけで、今後、委員の皆様との議論の中で、それがどうなっていくかは、ちょっとやってみないと分からないというか、そういうことになると思います。

ただ、今まで議論してきたテーマが、今、私が申し上げたような方向、それだけで

はないですけども、それが1つの大きなテーマとして浮かび上がってくる。

あと、社会経済が技術的な点でも変化していますから、それに対してどうするとか、幾つの柱を立てるかというのは、まとめ方の問題になりますね。

ただ、今まで議論してきたことが無駄にならないように、丁寧に、しかも分かりやすくまとめられたらいいなど、今は思っている段階です。

○記者

ありがとうございました。

○記者

ほかにございますか。

では、会長、ありがとうございました。

○中里会長

どうか、よろしく願いたします。

ありがとうございました。

[閉会]